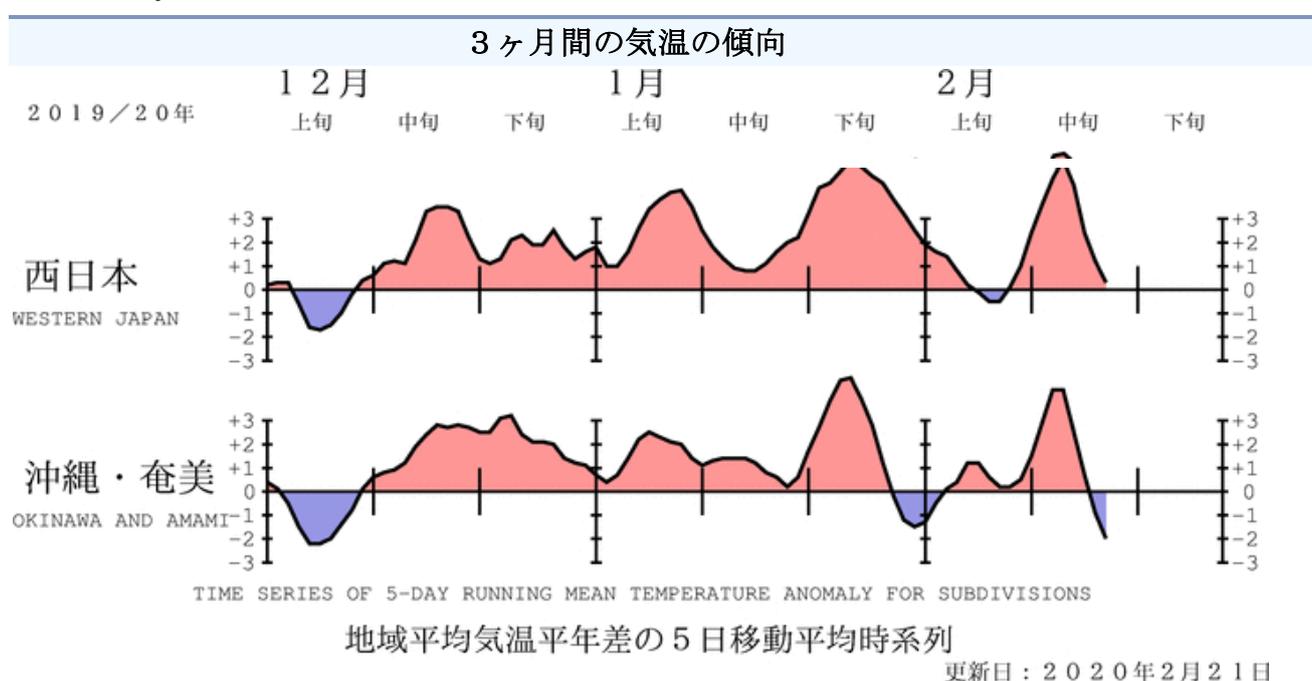


## 2020年サクラだより 1.

### \*沖縄地方のカンヒザクラの開花・異常？

・今期の高等科の修学旅行は2月8日～10日の日程で、主として八重山諸島の自然を訪ねる旅でした。この旅では、既に1月29日に同地区での開花宣言されていた「カンヒザクラ」が満開に近いのでは？と出かけたのですが案に相違して、街路樹として植えられていた数本の樹はいずれもちらほら咲き、川平湾の公園に植えられていた樹に至っては5、6輪の花しか見られず。何と、多くの冬芽が開く気配もなくついているといった状況でした。

地球温暖化の影響か、今冬は下図のように西日本のみならず沖縄地方でも12月以降の冬季の気温が例年になく高目に推移しており、花芽の「休眠打破」がなされていないか遅れているのではないかと考えられました。



では、沖縄・奄美の他の地域の状況は？ということでこの地方での11～1月の月平均気温とこの地方の季節観測標準種とされる「ヒカンザクラ」の開花状況を調べて見ました。その結果が下表の通りでした。

2020年、11～1月の気温とヒカンザクラの開花・満開日									
場 所	11月の気温		12月の気温		1月の気温		カンヒザクラ開花		満開日
	平 年	2019年	平 年	2019年	平 年	2020年	平 年	2020年	2020年
名 瀬	20.2	20.6	16.5	17.6	14.8	16.5	1月19日	1月23日	2月7日
沖 縄	21.4	22.6	18.0	19.3	16.3	17.9	1月18日	1月6日	2月3日
宮古島	22.7	23.1	19.7	20.8	18.0	19.4	1月16日	2月7日	
石垣島	23.2	23.6	20.1	21.1	18.6	20.0	1月16日	1月29日	
南大東島	22.8	24.0	19.4	21.1	17.7	19.7	1月20日	2月6日	

いずれの地域でも気温は平年に比べ高め、特に12月、1月の気温が高かったことが分かります。

この結果、沖縄を除く他の地域では開花（標準木で、5、6輪が開く）が例年より遅いのは「休眠打破」が遅れた為と考えて間違いないでしょう。

なお、奄美、沖縄を除く他地域では「満開（つぼみの8割が開花）」の報告は本日2月22日現在出されていません。通常はこの地域での「ヒカンザクラ」の開花から満開までの所要日数は2週間程度ですので、あるいは休眠破された“芽”は一部である可能性があります。

（上表で、沖縄の開花日が平年に比べ12日も早くなっていますが、満開日は平年では2月4日であり1日だけしか早くなっていません。普通は開花から満開までの期間は、気温が高くなれば、短くなるのですが1ヶ月近くもかかるのはやはり異常？ 休眠打破に問題があったのではないかと思います。）

### \*ついでながら

「ヒカンザクラ」の原産地は中国南部から台湾で、沖縄地方にはこれらの地方から伝わったとされおり一部は野生化しています。現在は沖縄地方の季節観察標準種とされていますが、休眠打破に必要な条件（温度×期間）や休眠打破後開花に必要な積算温度などは不明です。本州でも関東以南に植栽されており、早咲き桜の代表種とされています。この早咲きの性質を利用し多くの交配種も創生されています。

早咲きの桜として知られる「カワズザクラ（河津桜）」は上記の「ヒカンザクラ」と「オオシマザク」系の自然交雑種で、**名前の由来**はもともと伊豆半島の河津川の土手で1955年（昭和30年）に最初の原木が見つかり、また河津地方独特の桜であったことから**土地の名前**を取って1974年（昭和49年）に**河津桜**と命名されたようです。現在は伊豆急河津駅近くの河口から上流へと向かう約4kmの河畔に、約850本の河津桜が植えられています。今年は暖冬であることから、1月30日に開花し、2月9日には5分咲きとなったとのこと。本種は「ヒカンザクラ」の性質を受け継ぐので、花はやや下向きに、ピンク色に咲きます。

・大阪では長居公園（地下鉄長居から植物園に行く途中）に植えられていたと記憶します。



（芦屋側・右岸の公園で・・・昨年）

\*植栽の園芸種には早咲きの「オカメザクラ」という品種が知られますが、こちらはイギリスの桜研究者コリングウッド・イングラムが「カンヒザクラ」と「マメザクラ」を交配して作出。名前はおかめに由来する。淡い紅色の一重咲きで、花が下を向いているのが特徴。花期は2月下旬から3月上旬ごろ。ソメイヨシノより早くに開花するとのこと。